



尼崎市立立花中学校

学校だより

令和3年5月号

強く生き、正しく考え、優しく関わる立中生

「自信をもって学びに向かう立中生へ」

校長 岡本 修一

新型コロナウイルス感染拡大により、世界中で多くの方が亡くなり、今なお入院、治療されている方がおられます。ここに謹んでお悔やみとお見舞い申し上げます。



現在、3度目の新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言が発令中です。これまで以上に、不要不急の外出を控え感染拡大防止に取り組んでいきましょう。

私の知り合いのご家族がこの感染により亡くなられ、本当にこの感染について甘く見てはいけないということを思い知らされました。今は、まだまだ我慢の時、三つの「密」を避け、手洗いとマスクを着用しての咳エチケットは、私たちにできる最低限の予防方法です。みんなでしっかり感染予防しましょう。

今後につきましても、本校は市の方針を受け対応してまいります。急な予定の変更等につきましては、ミマモルメや学校ホームページ等でお伝えします。不安な毎日が続きますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

先日の夕方、帰り道で「さようなら」と笑顔で挨拶してくれた生徒たちがいました。少し考えごとをしながら難しい顔をしていたかもしれない私でしたが、気持ちのいい挨拶をされ、自然に笑顔になりました。ひとつの挨拶、ひとつの言葉が、こんなにも自分の心をあたたくしてくることに改めて気づかされました。私はとても嬉しくなりました。

桜の花に歓迎されて始まった新年度も、新緑の季節を迎えました。新年度がスタートし、1か月が過ぎました。学校では、すでに新学習指導要領に基づいた授業が始まっています。新1年生は、慣れ親しんできた小学校6年間の生活から中学校への生活習慣へと変わり、2・3年生は新しいクラスメイトに、先生に、まだ少し、違和感があるかもしれません。日に日に慣れ親しみ、1人ひとりが立花中学校の生徒として「自信」を持って活躍することを願っています。

本校の【教育目標】についてお知らせいたします。今日の学校教育に求められていることは、目標や希望を持ち生涯を生き抜くことができる人(未来志向の教育)、人の気持ちや立場を尊重し互いに協働・協力できる人(個の尊厳や人権の尊重)、多様な他者と協働して主体的に地域社会に関わる人(家庭・地域社会との連携)の育成です。家庭・地域社会と学校が一体となり、教育目標の実現に向けての取り組みが大切です。

■学校教育目標

1. 志を高く保ち、粘り強く物事に取り組む、健康でたくましい心身を育てる
 2. よく学び、社会を知り、自らの行動を正しく判断・選択できる力を育てる
 3. 他者を思いやり、互いに優しく支えあい、良好な関係を築ける人を育てる
- 「知・徳・体」のバランスのとれた人間の育成を目指します。

■めざす学校像・生徒像・教師像

○学校像

- ・安全・安心な学校
- ・未来志向の学校
- ・明るく活気に満ちた、信頼される学校



○生徒像

『強く生き、正しく考え、優しく関わる立中生』

- ・目標や希望を持ち、強く生き、やり抜くことができる生徒
- ・集団の一員として正しく考え、協働、協力する生徒
- ・いじめを許さない、人の気持ちや立場がわかり優しく関わる生徒

○教師像

- ・心身共に健康で学び続ける教師
- ・授業力、指導力を高め、生徒の確かな学力保障につとめる教師
- ・共感的理解に基づく生徒支援につとめる教師
- ・人としての在るべき姿を常に求め、協働・協力できる教師
- ・1人ひとりの成長に着目し、生徒の自己肯定感を醸成できる教師

【お願い】

「ミマモルメ」の登録がお済みでない保護者の方は、是非とも登録をお願いいたします。ご家庭においても新型コロナウイルス感染症予防に、引き続きご配慮ください。臨時休校の対応について等の連絡については、ミマモルメにてお知らせいたします。どうぞよろしく願いいたします。



【お詫び】 4月号で退職された先生で小島 絹江先生のお名前が抜けておりました。申し訳ありませんでした。